

燃料消費量低減管理手順書

文書番号

PN003

1. 目的

この手順書は、燃料消費量の低減に努めるための実施手順を定める。

2. 燃料消費量の管理

- 1) 部門内責任者は、燃料消費量の低減の目的・目標を、従業員に周知させる確な履行を促す。
- 2) 部門内責任者は、燃料消費量の低減を的確に行うための担当者を指名する。指名されたものは、活動並びに記録の管理責任をもつ。
- 3) 部門内責任者は、日常の管理において不具合な面があれば、従業員に適切な指示とその履行を促す。
- 4) EMS事務局は、毎月の燃料消費量を確認するとともに、全体環境マネジメントプログラム/実績管理表(燃料)に記録し、環境管理責任者に報告する。
- 5) 環境管理責任者は、燃料消費量の低減状況がプログラムに適合しないか、しなくなることが予測される場合、[不適合管理実施手順書](#)に基づき処置を行う。

3. 具体的な方法

車輛の燃料消費量の低減

アイドリングストップを励行し、記録用紙 ([様式『燃 2』](#)) に実績を記録する。

タイヤの空気圧を適性に保ち、急発進、急停車、空ぶかしをしない。
作業時最低必要以外の物を常時搭載して移動しない。(不用不急な物品類、雑多で同種類の工具類、以前の作業等で使い残した材料等)

「作業日報」に定める点検を確実にを行い、記録する。

関連文書等

作業日報

記録用紙 ([様式『燃 2』](#))

[不適合管理実施手順書](#)

制定・改訂履歴表

改訂版番号	改訂理由と主な改定内容	改訂年月日	事務局印	承認者印
第1版	初版	H.11.11.15		許田
第2版	環境推進委員会による全面見直し	H.12. 1.15		許田
第3版	環境管理責任者による見直し	H.12. 4.14		許田
第4版	環境推進委員会による全面見直し	H.17. 4.11		許田
第5版	環境推進委員会による全面レビュー	H.17.11.14		許田